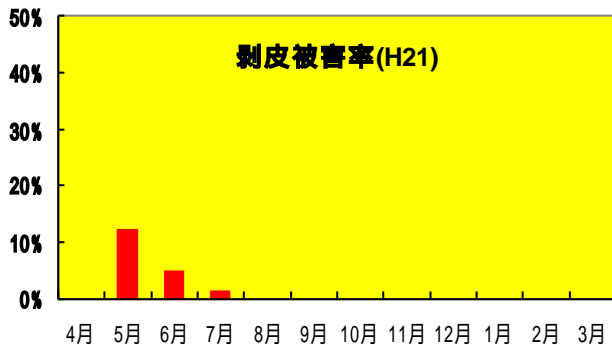


ニホンジカによるスギ・ヒノキ成木 剥皮被害の実態解明及び防除方法の開発

(農林センター 森林技術センター)

シカ樹皮剥皮は主にヒノキ林で5月から7月に多発し、根張り部分があるとより被害を受けやすいため、4月から7月の重点防除の提言と根張り部分被覆を含む防除技術を開発しました。

シカ剥皮の実態



樹皮が剥がれやすい5月～7月に被害集中。
このため、この時期の防除対策が重要。



幹部分へ直接アタック



根張り部分から幹部へ

防除資材の開発



間伐後の丸太を使用



竹・枝条とベルト状資材

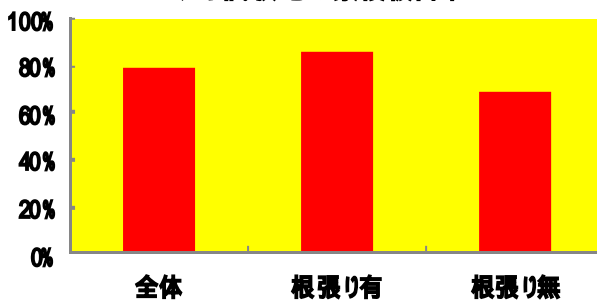


格子状網資材

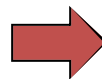


カーテン状資材

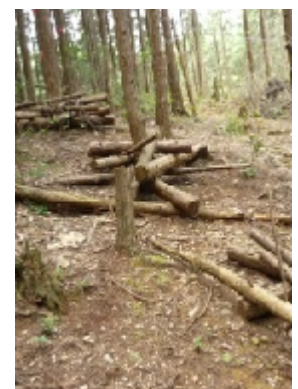
ヒノキ試験地の累積被害率



防除資材試験区ではH21・H22の2年間で被害無し。
今後効果を見ていく必要がある。また、根張り部分の被覆も必要。



根張りを覆った防除法はより有効



- ・林業普及員との共同調査により、シカ剥皮被害の重大さが認知されました。
- ・人工林の樹皮剥皮防止に対する助成が制度化され、被害対策がより取り組みやすくなりました。